SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

平成２９年６月３０日　発行

平成 26 年度文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール（５年間指定）

2017 SGH通信

【２年生配布用】
No.８　岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

「ＳＧＨ課題研究３」見学会について

本校の SGH 指定も今年度４年目を迎えます。昨年より３年生希望者対象の「SGH 課題研究３」が始まり、前回の通信でも紹介しましたが、４月から７月末までの毎週土曜日（テスト週間等は除く）に、２時間（１０:３０～１２:３０）開講しており、履修・修得すれば１単位が認められています。２年生の皆さんは、来年度自分がこの科目を選択するかどうか決めなければなりません。

そこで、下記のとおり、「SGH 課題研究３」見学会を開催します。この科目の大きな特徴の一つは、先生が英語ネイティブだということです。今年度は、Jeffery Patrick Fritch 先生（ジェフ先生：アメリカ、オレゴン州出身）が、「グローバル課題」に関する様々な内容を、オールイングリッシュで指導してみえます。「SGH 課題研究」という科目ですが、英語運用能力の向上に重点をおいた内容となっています。

この授業では、単に英語を学ぶのではなく、英語でグローバル課題解決に向けた内容を学ぶとともに、特にスピーキング力（発信力）の向上に重点をおいているので、英語でのディスカッションも毎回行っています。受講者の皆さんは、「毎回楽しく学べている。」「もっと英語で話したい！」など、前向きな意見を言ってくれています。

記

日　時：７月８日（土）、15 日（土）１０：３０～１２：３０（途中退室も OK です）
場　所：管理棟３階　生物講義室

２年生の皆さん！　文系理系を問わず、「将来、国際関係・外国語関係の学部に進みたい！」「英語運用能力を高めたい！」「英語ネイティブの先生と学習したい！」など、少しでも興味・関心のある人は是非、見に来てください。（今年の受講者は、文系理系ともに半分ずついます。）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・切　り　取　り　線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「SGH 課題研究３」見学会参加票　　【申込締切は、７月５日（水）１７時】

■ ７月８日（土）の「SGH 課題研究３」見学会に参加します。（　　）
■ ７月 15 日（土）の「SGH 課題研究３」見学会に参加します。（　　）

２年（　）組（　　）番　氏名（　　）

箕浦（職員室）まで持ってきてください。

SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

７月～９月の「ＳＧＨ課題研究２」に関する評価表（案）について

現在、皆さんは、「研究計画書」の作成をしていると思います。その「研究計画書」や「大学の先生方からのゼミ指導」について、大垣北高校の先生方から皆さんの取組を評価していただきます。そこで、どんな観点で評価されるのかを事前に皆さんにお知らせするため、評価表（案）を載せましたので、確認してください。

この評価表（案）を参考に、皆さんに求められていることを念頭に置いて、７月以降の「ＳＧＨ課題研究２」に取り組んでください。

段　階	項　　目	不十分な状態（1）	やや不十分な状態（2）	やや満足のいく状態（3）	満足いく状態（4）
①課題設定 （研究計画書）	前年度研究との関連	別領域での取り組みで関連性は希薄。	同一領域だが関連性はやや不十分。	前年度研究を進化させようとする計画。	前年度内容を活用した挑戦的な計画。
	研究テーマ	アジアの持続可能性に関する意識が不十分。	アジアの持続可能性に関する意識がやや弱い。	アジアの持続可能性を意識。	アジアの持続可能性を十分意識。
	課題意識（研究目的）	明確な課題意識が持てていない。	課題意識をしっかり持っている。	課題意識が明確で、独自の着眼点を持つ。	課題意識が明確で、深みのある研究目的である。
	リサーチクエスチョン（RQ）	What,Why,Howの形が取れていない。	What,Why,Howの形は取れている。	What,Whyを意識したHowが立てられている。	各問いに深みがあり興味深いRQである。
	仮　説	各RQに対する仮説が立てられていない。	仮説はあるがRQに対応していない。	RQに対応した仮説が立てられている。	十分に考えられた仮説が立てられている。
	研究の見通し	現段階ではなすべきことが見えていない。	現状を理解するため、情報収集や分析をしている。	成果のイメージを持ち、現段階でなすべきことが見えている。	過程が明らかであり、現実性の高い計画ができている。
②大学教官ゼミ	研究の全体像の説明【×2】	十分に研究の見通しを語ることができない。	ある程度研究の見通しを語ることができる。	研究の見通しを語ることができる。	堂々と研究の全体像を論理的に語れる。
	リサーチクエスチョン（RQ）の説明	リサーチクエスチョンの説明ができない。	リサーチクエスチョンの説明が不十分な部分がある。	ある程度リサーチクエスチョンの説明ができる。	論理的に、堂々とリサーチクエスチョンの説明ができる。
	先行研究の論文への活用	先行研究論文を読んでいない。	先行論文を読んだが活用できない。	先行論文を活用する構想を立てている。	複数の先行論文を活用する構想がある。

得点　　/40

SGH SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL